

大谷翔平の偉業

昨年の2023年、前人未踏の偉業を達成した傑物が、野球界に出現しました。大谷翔平は、史上初の2年連続の「2桁勝利、2桁本塁打」をマークし、日本人初の本塁打王を獲得し、ア・リーグの最優秀選手（MVP）を受賞しました。大谷の23年はWBCに日本代表として出場しました。2試合に先発好投し、米国との決勝戦では3対2の9回ストッパーとして登板。トラウトを空振り三振に仕留めて優勝を決めたシーンとは、エンゼルスの一対一の対決というドラマ性と相俟って、大会のハイライトになりました。今季は投手で10勝5敗、

防御率が3・14、167奪三振。打者ではメジャー6年目で初の打率を3割台（3割4厘）に乗せ、44本塁打でタイトルを獲得。総合的な指標のOPS（出塁率と長打率の合計）はメジャートップの1・066。21年に続き2度目の満票でMVP選出も史上初の快挙でしたが、7月から両脚や右手中指のけいれん、8月に右肘の靱帯損傷が判明。シーズン終了を待たずにチームから離脱。打者として27試合欠場しても本塁打王になった快挙に日本中の人が喝采を送りました。24年から強豪ドジャーズに移籍が決定。10年総額（日本円で約千15億円）の契約を結びました。メジャー史上最高、世界のプロスポーツ界最高額になりました。

○語彙力チェック

①「涅槃（ねはん）」とは、正しくは何のことか。

A 釈迦の誕生 B 釈迦の出家

C 釈迦の病氣 D 事後観察

②「根回し」の正しい意味は次のどれか。

A 事後処理 B 事前検閲 C 事前調整

③「脳裏に浮かぶ」の正しい意味次のどれか。

A ふとしたはずみ B ふと思いつく

C はじめて泳げた

④「退（の）っ引きならない」の意味は次のどれか。

A 感きわまる C 見極める

C 進退きわまる

⑤「ノドもと過ぎれば」の下に次のどれが続いたら正しい表現になるか。

A 熱さ忘れる B 風邪も吹き飛ぶ

C 寒くてならぬ

⑥「暖簾（のれん）に腕押し」の正しい意味は次のどれか。

A 手応えがない B 歯ごたえがない

C 呼んでもこたえがない

（解答）①B ②C ③B ④C ⑤A ⑥A